



県内経済の動き

概況

〔8月～10月の動き〕

足踏み状態

鉱工業生産指数（8月）は前月比・前年同月比共に上昇。輸出額（9月 細島港）は10カ月連続で前年比減少した。百貨店・スーパー販売額（9月 全店ベース）は9カ月連続、「軽」を含む乗用車の販売台数（10月）は28カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（9月）は前年比3カ月ぶりに減少。公共工事（9月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年を上回り、有効求人倍率（9月：1.27倍）は、前月比0.02ポイント低下した。10月の企業倒産件数は48カ月連続1ケタ台で推移。

県内経済は、企業の生産活動の一部には回復の兆しを感じられる部分があるものの、個人消費を中心に弱い動きが続いており、全体としては足踏み状態にある。 （厚地）